

---

**巻 頭 言**

---

**ヨーロッパ微生物学宣言**

国立遺伝学研究所 菅原 秀明

微生物学の先達として、レーウェンフック (Antonie van Leeuwenhoek), フラカストロ (Girolamo Fracastoro), パスツール (Louis Pasteur), コッホ (Robert Koch), バイエリク (Martinus Beijerinck) と名前を挙げていくと、出身国は、オランダ, イタリア, フランス, ドイツそしてまたオランダである。ヨーロッパは微生物学を産み育んだ大陸である。しかしヨーロッパの有識者は長年、対象とする微生物の種類ごと, 専門分野ごと, そして国ごとに孤立化する傾向を憂慮していた。その対応を模索するうちに, 1974年, 14カ国の微生物学会をメンバーとしてヨーロッパ微生物学会連盟 [Federation of European Microbiological Societies (FEMS)] が設立された。

その後 FEMS は, 種々の研究会を開催し有力な学術誌を刊行し, また, 欧州連合 (EU) の形成や東西融合も背景として, 現在 34カ国 46学会 (30,000 ~ 40,000名のメンバー) を擁するまでに発展した。その間に, 感染症をもたらす微生物とともに, 地球環境の保全や人間の福祉に貢献する微生物の役割が一般社会にも徐々に理解され始め, 近年ヨーロッパにおける種々の科学プログラムでも微生物学を対象とする予算措置がなされるようになってきた。

この機を捉えて 2003年に FEMS は初めて, ヨーロッパの微生物学者が一同に会する総合的な学術大会 (FEMS 2003-1st Congress of European Microbiologists) をリュブリャーナで開催した。参加者数は, ヨーロッパ域外からの参加者も含まれるが, 1,254名を数え, 6月29日~7月3日の5日間の会期中, 会場の通路や演者の台にまで聴衆が溢れる熱気に満ちたセッションが繰り広げられた。

ヨーロッパ微生物学宣言は, 大会2日目の6月30日に FEMS への各微生物学会の代表者が署名して公となった。この宣言はヨーロッパの微生物学に対するこれからの課題を明らかにし, かつ, ヨーロッパの微生物学の一体化を促進することを目的としている。事実, 宣言の文中で unification, cohesion, harmonization, cross-fertilization という単語が繰り返し使われてヨーロッパの力を結集しようとする強い意志が表明されている。また, この宣言は研究社会だけでなく, 科学技術政策担当者, さらに一般社会にも向けられている。

ここで, 系統保存機関や一般社会との関係も取り上げられている宣言の内容を具体的に紹介しよう。

1. 微生物学は, 人間の福祉に貢献し, すべての人々のための持続的開発を支え, 自然環境を保全し, 世界平和の達成に寄与する
2. 微生物が環境と人類にもたらす恩恵について一般社会の認識を高め, また, 微生物がもたらす害毒は稀であり微生物がもたらす恩恵にははるかに及ばない事実について一般社会の理解を深める
3. あらゆるヨーロッパ市民が, 微生物と微生物学が人類と自然環境にもたらす恩恵と脅威に関する精密な情報を, 関連する文献とともに入手できるようにする
4. 研究と微生物系統保存機関のネットワークによって, 微生物多様性の理解と保全を支える

5. 人間の福祉に反する（兵器やテロリズムへの）微生物の意図的使用を糾弾する
6. ヨーロッパの教育システムに微生物学を必ず取り上げ、科学教育および社会教育のあらゆる面に微生物学を十全に組込む。微生物学者は、自身の研究と微生物の重要性に関して一般市民と意思疎通する
7. 微生物の処理、産物ならびに関連する手続きのすべてにおいて高水準の安全性をめざす。微生物学の研究から生まれてくる技術は十二分に評価してから開発に応用する
8. 微生物のゲノムデータは人類にとっての遺産であり、すべての人々が利用可能とする
9. ヨーロッパ内での研究者の流動性を高め、最優秀な微生物学者をヨーロッパ内にとどめ、ヨーロッパ内の大学、病院、政府機関および企業の研究室で強力な微生物学研究が行われる枠組みを整えて、ヨーロッパの微生物学を育む
10. バイオテクノロジー、食品、迅速診断法および環境保全のような微生物学の潜在的成長領域を支える

さて、欧州連合は各国の多様性を抱えながらも経済的な存在感を増し、ユーロはドルに次ぐ基軸通貨となった。ヨーロッパの微生物学も多様性を抱えながらも、一体感を増して、国際的にその存在感が増していくことであろう。こうして、産学において充実した歴史を有する日本の微生物学が欧州そして American Society for Microbiology を有する米国の進化する微生物学の狭間に埋もれていくのか、鋭い頂きを突出させていくことができるのか、微生物学の総合的戦略の構築が待たれる。

#### 参考ホームページ

The Federation of European Microbiological Societies : European Declaration for Microbiology (<http://www.fems-microbiology.org/>)

羊土社「Bioベンチャー」2003年11-12月号「ヨーロッパ微生物宣言」を転載（一部改変）

---

Title : The European Declaration for Microbiology

Hideaki Sugawara